

交流の場ビオトープ

—東山いきいき市民活動センター中庭ビオトープ—

令和3年度第3号 (R3.9.16 発行)

〔実施日時〕 令和3年9月15日(水) 10時15分頃から2時間余

〔実施者〕 (いきセン職員)松浦、走り、山野、斉藤合計4名 (敬称略)

〔ビオトープの整備活動〕

前回夏の初めの作業から2ヶ月余りが経ってしまいました。夏草が茂りすぎて脚の踏み入れる場がなく、手前から少しずつ除草していきました。強い日差しもなく作業にはうってつけの気候であり、草むらの中から元気なコオロギの鳴き声が聞こえてきました。

〔作業の内容〕

- ◇ 繁茂していた野草の主犯は外来アサガオ、名前が分からないイネ科の植物、キクイモ、ハナトラノオ、であり特に前2者が引き抜きにくく厄介でした。

余りの茂り過ぎに、あまり若くない方の二人は気分の悪さを忘れて奮闘して2時間が経過してしまいましたが、作業後はまずまず満足できる景観が出現しました。

- ◇ 低木類の枝が伸びすぎ且つ密集していて、病気が発生する恐れがありますので、この日はともかくアンズを少し手入れしました。

アンズの葉にはいも虫(濃褐色で頭部が黒いエダシャクのような形状;体調5~6cm)が多数繁殖して葉を食い荒らしていました。

- ◇ 大型プランターの中でスイセンの球根がたくさん生成していたので、プランターに植え戻すとともにビオトープエリアにも植えました。

〔植物と生き物の観察〕

<生き物>

- ◇ 前回導入したメダカは、夏場に松浦さん、佐伯さん、走りさんが管理していただいていたので、水涸れもなく、無事に生存していました。

- ◇ 植物が茂りすぎているのと快適な気候のため、生き物も数種来てくれていました:

ツヅレサセコオロギの美しい鳴き声、コシアキトンボ、たくさんのシジミチョウ、オミナエシの花にはツマグロヒョウモン、ハナトラノオの花にはクマバチ(タイワンタケクマバチ)、そしてアンズの葉にはエダシャクのような虫が群生。

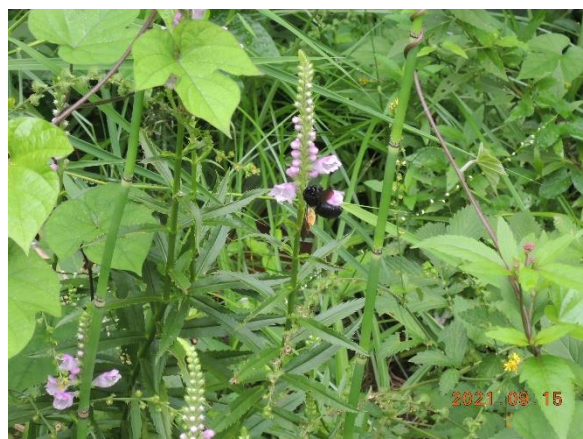
<植物>

- ◇ 開花中: ヒガンバナ、オミナエシ、ハナトラノオ、朝鮮アサガオ
- ◇ 蕾形成: ホトトギズ、キクイモ

◇ 美しい実： ムラサキシキブ、光沢ある緑の真珠のような実を房状に付けたヤブラン。



オミナエシに来たツマグロヒョウモン



ハナトラノオに来たクマバチ



整備後の全景



整備前の全景

NPO法人 ビオトープネットワーク京都

〒 607-8423 京都市山科区御陵山ノ谷34-1

TEL : 080-4974-1270

FAX : 020-4667-8027